

報道関係各位

株式会社ファミリーマート

## 2026年社長年頭挨拶

本日9時から、田町本社にて当社社員に向け年始朝礼を行いました。社長細見研介による「2026年年頭挨拶」を下記の通りお知らせいたします。

記

皆さん、明けましておめでとうございます。

心健やかに新年を迎えたことを、ファミリーマートに関わるすべての皆さまとともに、喜びを分かち合いたいと思います。

日頃より店舗を支えてくださっている加盟店の皆さま、取引先の皆さま、地域社会の関係者の皆さま、そして世界中のお客さまに、改めて深く感謝申し上げます。

振り返れば2025年は、ファミリーマートにとって大きな転機の一年でした。大谷翔平選手との取り組みは、ファミリーマートのブランドを一段高いステージへと押し上げ、備蓄米の取り組みでは、私たちが単なる「便利な存在」ではなく、社会を支えるインフラであることを、日本中に示すことができました。

これらは決して話題づくりではありません。加盟店の皆さま、現場で汗を流す社員一人ひとり、そして本部が一体となり、「あなたと、コンビに」という哲学を行動で体現してきた結果だと、私は強く感じています。2025年は、ファミリーマートが日本のリテールを牽引する存在として名を馳せた一年だったと言えるでしょう。

**そして迎える2026年。私たちは創立45周年という大きな節目に立っています。**

**次の成長ステージで私たちに求められるのは、リアル店舗の力を基盤に、データ・デジタル・コンテンツを掛け合わせ、加盟店の収益を継続的に生み出す「メディアコマースの旗手」として進化することです。売場だけではなく、競う時代は終わりました。ファミリーマートは、日常の接点そのものを価値に変え、加盟店とともに「稼げる仕組み」を創り続ける企業でなければなりません。**

さて、2026年の干支は「丙午（ひのえ・うま）」です。「丙（ひのえ）」は、太陽のようなエネルギーと情熱を意味し、「午（うま）」は、力強く前へ前へと駆け抜ける推進力を象徴します。

丙午の年は、迷わず、立ち止まらず、スピード感をもって挑戦することで道が拓ける年だと言われています。まさに、現状に安住せず、「チャレンジするほうのコンビニ」を掲げるファミリーマートにふさわしい年です。

45周年の節目を、単なる通過点にしてはいけません。

これまで積み重ねてきた強みを信じ、必要であれば過去の成功体験すら乗り越え、加盟店の皆さまと一緒に、次の成長へと全力で駆け抜ける一年にしていきましょう。

丙午の勢いそのままに、走りながら考え、考えながら走る。ファミリーマートらしいスピードと情熱で、新しい一年も共に挑戦してまいりましょう。

本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

以上